

定住自立圏構想  
中心市宣言書



平成22年3月30日

沖縄県宮古島市

## 宮古島市定住自立圏中心市宣言

### ～ 地域間の均衡ある発展をめざして ～

合併前の旧市町村では、個性豊かな文化や歴史を背景に、独自のまちづくりを進めながら発展してきましたが、少子高齢化等による人口減少及び財政状況の悪化などの様々な課題に対して、個々の市町村の取り組みではその対応に限界が生じていました。

この様な状況を、圏域の共通課題として認識するとともに、力を合わせて様々な課題に一体的総合的に対応し、自立の道を切り開くため平成17年10月1日、合併により宮古島市が誕生しました。

広域合併により誕生した宮古島市は、合併前の旧平良市が中核的な役割を担っており、医療・福祉、教育、交通、商業施設及び、国・県の行政機関等も集積しており、都市部の機能はある程度果たせる状況にあります。今後は、圏域全体の暮らしに必要な都市機能の一層の充実を図るため、諸インフラや諸施設の整備を進めていかなければなりません。

また、旧町村部は、定住化を促進するため、必要な生活機能を確保するとともに、農林水産業の振興や観光資源の保全を図るなど、地域の特性を活かした取り組みが必要です。

都市部と旧町村部は、お互いに連携・協力することにより、圏域全体を「集約とネットワーク」の構築を積極的に推進することが重要です。

このため、合併前の旧平良市を中心地域とし、旧3町1村（旧城辺町、旧下地町、旧上野村、旧伊良部町）を周辺地域とする「宮古島市定住自立圏」の確立を図り、更なる宮古圏域全体の均衡ある発展を目指すことを、ここに宣言します。

平成22年3月30日

宮古島市長 下地 敦彦

## ＜定住自立圏構想への背景と主な取組み＞

宮古島市の旧平良市の都市機能と旧4町村の動向は以下のとおりである。また、中心地域となる旧平良市と旧町村の周辺地域が連携により異なる役割を担い、均衡ある発展を展開していく取り組みは次のとおりである。

### 1. 旧平良市における都市機能の集積状況

公共施設等による各種サービス機能、中核的な医療機能、大規模商業その他都市機能の集積状況は概ね以下のとおりである。

分野	都市機能	施設名
医療・福祉	病院等	県立宮古病院、宮古島徳洲会病院、宮古島リハビリ温泉病院、宮古南静園、宮古島市休日・夜間診療所
	福祉	宮古福祉保健所
教育	高等学校	県立宮古高校、県立宮古工業高校、県立宮古総合実業高校
	特別支援学校	県立宮古特別支援学校
文化・スポーツ・情報・娯楽	図書館	市立図書館（移動図書館を含む）
	劇場・博物館	マティダ市民劇場、宮古島市総合博物館
	スポーツ施設	市陸上競技場、市営球場、市民球場、市総合体育館
	情報施設(CATV)	宮古広域情報センター、宮古テレビ(株)
	新聞社	宮古毎日新聞社、宮古新報社
	ラジオ放送局	エフエムみやこ
交通	第3種空港	宮古空港
	重要港湾	平良港
	バス・タクシー	市内バス 2社、タクシー 13社
商業・金融	大規模店 (1,000㎡以上)	7店舗
	金融機関	銀行3店舗（琉球銀行、沖縄銀行、海邦銀行） ゆうちょ銀行、沖縄県労働金庫、沖縄県農協、沖縄県信漁連
行政	国の機関	沖縄総合事務局平良港湾工事事務所、同局陸運事務所宮古支所、沖縄社会保険事務局平良事務所、宮古公共職業安定所、宮古労働基準監督署、宮古島海上保安署、宮古島地方气象台、宮古島税務署 那覇地方裁判所平良支部、那覇家庭裁判所平良支部
	県の機関	宮古事務所、宮古農林水産振興センター、宮古土木事務所、宮古教育事務所 宮古島警察署
	市の機関	宮古島市役所、宮古島市消防署
その他		宮古島商工会議所、宮古島観光協会

## 2. 旧4町村住民の都市機能利用状況

旧平良市にある県立宮古病院及び宮古島徳洲会病院は、二次救急病院として機能しており、宮古島市休日・夜間診療所は初期救急医療を夜間、休日も担っている。

また、旧4町村から旧平良市への買い物動向の調査結果は次表の通りとなっており、大規模店が集積している旧平良市での購買率は高い。

### ①宮古病院地区別患者 (単位：人) (単位：人)

	外来患者数	割合		入院患者数	割合
旧城辺町	13,564	13%	旧城辺町	14,284	14%
旧下地町	4,452	4%	旧下地町	4,256	4%
旧上野村	4,358	4%	旧上野村	3,455	3%
旧伊良部町	4,531	4%	旧伊良部町	7,895	8%
小計	26,905	25%	小計	29,890	29%
旧平良市	77,665	72%	旧平良市	68,230	67%
その他	3,384	3%	その他	3,573	4%
合計	107,954	100%	合計	101,693	100%

注) 平成17年度患者状況

### ②宮古徳洲会病院地区別患者 (単位：人) (単位：人)

	外来患者数	割合		入院患者数	割合
旧城辺町	774	9%	旧城辺町	95	13%
旧下地町	529	7%	旧下地町	70	10%
旧上野村	317	4%	旧上野村	37	5%
旧伊良部町	763	9%	旧伊良部町	98	14%
小計	2,383	29%	小計	300	42%
旧平良市	4,610	56%	旧平良市	361	50%
その他	1,183	15%	その他	57	8%
合計	8,176	100%	合計	718	100%

注) 平成20年度患者状況

### ③宮古島市休日・夜間診療所地区別患者 (単位：人)

	外来患者数	割合
旧城辺町	431	13%
旧下地町	152	5%
旧上野村	176	5%
旧伊良部町	6	1%
小計	765	24%
旧平良市	2,275	71%
その他	165	5%
合計	3,205	100%

注) 平成20年度患者状況

#### ④旧平良市への買物動向

	衣料品	見回品	文化品	日用品	食料品	贈答品
旧城辺町	78.5%	63.1%	67.4%	50.4%	49.2%	52.3%
旧下地町	90.9%	97.9%	98.4%	74.5%	78.5%	81.9%
旧上野村	91.1%	92.9%	98.8%	93.8%	87.9%	89.7%
旧伊良部町	94.4%	88.6%	82.7%	46.6%	43.4%	53.3%

注1) 平成16年度沖縄県買物動向調査報告書

注2) 調査では16品目の商品について調査し、6分類に集約してデーターとしている。

商品6分類

17品目

衣料品	「婦人服」「紳士服」「子供服」「呉服・寝具」「シャツ・下着類」
見回品	「くつ・カバン」「時計・メガネ・貴金属」
文化品	「家庭用電気器具」「家具・室内装飾品」「スポーツ・レジャー用品」 「書籍・CD・文具」「化粧品・医薬品」
日用品	「日用雑貨品」
食料品	「一般食料品」「生鮮食料品」
贈答品	「贈答品」

### 3. 旧平良市に対する通勤通学割合

旧4町村から旧平良市に対して、従業又は通学する就業者及び通学者を、常住する就業者数及び通学者数で除して得た数値（以下、「通勤通学割合」という。）は次表のとおりであり、旧平良市はこの地域における住民生活等において中心的な役割を担っている。

#### ①旧平良市への通勤通学状況

(単位：人)

	常住就業者・通学者数		通勤通学割合
	者数	うち旧平良市での 従業・通学者数	
旧城辺町	4,173	1,180	28.3%
旧下地町	1,737	494	28.4%
旧上野村	1,756	551	31.4%
旧伊良部町	3,793	241	6.4%

注) 平成12年国勢調査結果

## 4. 展開しようとする主な取組み

宮古島市は、都市機能を有する旧平良市と周辺地域である旧城辺町、旧下地町、旧上野村、旧伊良部町の4町村が、平成17年10月に合併し、誕生した離島県の中の離島地域である。

取組みについては、旧平良市では圏域全体の暮らしに必要な都市機能を集約的に整備し、旧町村部の周辺地域においても必要な生活機能を確保し、農林水産業の振興や観光資源の保全を図るなど、互いに連携・協力することで圏域全体の均衡ある発展を推進する主な取組みは以下のとおりである。

### ①生活機能強化に係る取組み

#### a) 医療

- ・地域医療連携体制の構築
- ・緊急医療体制の維持確保

#### b) 福祉

- ・地域の福祉力の向上の推進
- ・巡回検診への支援
- ・住宅のバリアフリー化推進及び福祉サービスが可能な住宅の確保

#### c) 教育

- ・市立図書館情報の共有化推進

#### d) 産業振興

- ・農林水産業の振興
- ・観光資源の保全及び開発

#### e) 環境

- ・環境モデル都市の推進
- ・宮古島市全域における緑化の推進

### ②結びつきやネットワークの強化への取組み

#### a) 道路等の交通インフラ整備

- ・基幹道の整備促進

#### b) 地域公共交通

- ・路線バス・渡船航路の安定的運行の支援

#### c) 情報通信

- ・電子市役所の推進
- ・CATVを活用した行政情報の提供

#### d) 地産地消

- ・道の駅等による直売所の推進

### ③圏域マネジメント能力の強化への取組み

#### a) 人材育成・交流

- ・市職員の人材交流事業の推進

#### b) 外部からの行政及び民間人材の確保

- ・専門家の招聘による研修事業の推進